

大公開 海女の コスチューム

昔ながらの道具と衣装で皆さんをお待ちしています

1 水中眼鏡

昔は松島めがねと呼ばれるレンズが二つあるタイプも使用されていました。

2 ヤツカリ

腰に下げて潜り、浜にあがるまで獲ったウニなどを入れておく腰網です。

3 足袋とわらぞうり

ゴツゴツした岩やむき出しの貝から足を守ります。

4 ソエ(磯)カギ

ウニ用やアワビ用など獲物によって形もさまざま。

5 かすりの着物とショートパンツ

実演のときはかすりの着物にショートパンツで、漁に出るときは、ウェットスーツを着用します。

ウニ

久慈市周辺で夏が旬のウニといえばキタムラサキウニ。極上のコンブを主食にしているため、甘みとうま味にあふれた味わいです。生はもちろろん、塩ウニ、焼きウニも最高の味わいです。



(左)ソエ(磯)カギ (右)ヤツカリ

水中眼鏡

かすりの着物

アクセスマップ ACCESS MAP

久慈までの所要時間

出発駅	所要時間	路線
東京駅	2時間15分	東北新幹線
仙台駅	40分	東北新幹線
秋田駅	1時間30分	秋田新幹線
盛岡駅	1時間33分	三陸鉄道リアス線
盛岡駅	1時間	三陸沿岸道路
新函館北斗駅	1時間25分	北海道新幹線
久慈駅	1時間10分	JRスワロー号
盛岡駅	25分	東北新幹線
宮古駅	1時間33分	三陸鉄道リアス線
宮古駅	1時間	三陸沿岸道路
八戸駅	1時間40分	JR八戸線
八戸駅	40分	三陸沿岸道路

※久慈駅～小袖海女センターまで:車で約25分(小袖海岸の看板が目印です)



(一社)久慈市観光物産協会

〒028-0056 久慈市中町 2丁目 5番6
TEL.0194-66-9200 FAX.0194-66-9300
URL <http://kuji-kankou.com/>

久慈市産業経済部商工観光課

〒028-8030 久慈市川崎町1-1 TEL.0194-52-2123 FAX.0194-75-3536

北限の海女

昔からの教えを守り三陸の海の幸を
自らの手で獲る女性達がいきました。

ほくげんのあま

北限

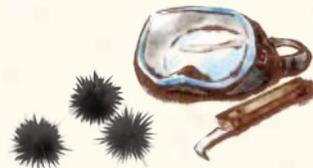
の海女

総延長180kmにも及ぶ陸中海岸。
 「北限の海女」は、その北部、久慈市の小袖海岸で
 活躍する海女たちの総称です。
 沖合は世界三大漁場の一つに数えられる漁場であり、
 サケをはじめ、マグロ、カツオ、サンマ、
 サバ、イカなどが多数水揚げされています。
 さらに、良質な海藻が育つ磯(岩礁地帯)は、ウニ、アワビなど
 高級食材の宝庫になっていて、海女たちの
 格好の漁場になっています。
 伝統の漁法を今に伝える「北限の海女」は、
 今また全国から注目を集めています。



海女の誕生

海女のはじまりは明治初頭といわれています。遠洋漁業が発展する中で、男たちが何日も家を空けるようになると、女性たちも畑仕事の合間に海に出てアワビやワカメ、コンブを採り、換金するようになりました。子供たちも一緒に採るようになり、自然と潜水の技術を身につけて海女になっていきました。当時は「海女」の名はまだなく、「かつぎ」と呼ばれていました。



「北限の海女」の名付け親

久慈市の海女が有名になったのは昭和34年(1959)に放送のラジオドラマ「北限の海女」がきっかけでした。脚本家の故水木洋子さんは、「ひめゆりの塔」、「裸の大将」、「浮雲」など、数々の名作を生み出した方で、都会の女性と小袖の海女の出会いと生き方を描いたもので、当時の生活や地域の様子が描かれていました。

ひと息でウニ10個も!

素潜りの海女にとって、やっかいなのが海水温。三陸の海は親潮の影響で冷たく、漁が終わる頃には体が冷え切ってしまいます。それだけに、素早い潜水が重要で、上手な人はひとかきで2mあまりも進み、獲物の多い10m以上の好ポイントまで一気に潜水します。そして10個ほどのウニを採りヤツカリ(ウニ入れ腰網)に入れて浮上してきます。ただ、海藻が体からみ付いて身動きがとれなくなったり、ヤツカリが岩場に引っかかったり危険も背中合わせの漁なのです。



「北限の海女」と出逢うには



●素潜り実演
 7~9月(有料)
 ※実演時間はお問い合わせ下さい。
 ※天候等により臨時休館となる場合があります。

●営業時間
 9:00~17:00

●問い合わせ
 ☎0194(54)2261
 (小袖海女センター)



毎年8月第1日曜日に開催 北限の海女フェスティバル

北限の海女と地域が一体となって繰り広げられる一大フェスティバルです。海女のウニ素潜り実演のほか、郷土芸能披露など、多彩な催しを開催します。また、生ウニやホヤなど新鮮な魚介の即売も行われます。

●開催場所 久慈市小袖漁港周辺
 ●問い合わせ ☎0194(52)2123 (久慈市商工観光課)



NHK連続テレビ小説 「あまちゃん」のメインロケ地

東北の小さな田舎町で、海女を目指すヒロイン・天野アキ(のん)が挫折奮闘ののちに地元アイドルになるという、監督・宮藤官九郎が描いた「人情喜劇」。小袖海岸・小袖海女センター周辺には、ドラマのロケ地となった素潜り実演場や白い灯台、監視小屋などがあり、ドラマの世界観がそのまま広がっています。流行語大賞となった「じぇじぇじ」の発祥の地でもあります。

久慈市の
 観光情報が
 たくさん!



<https://www.kuji-kankou.com>